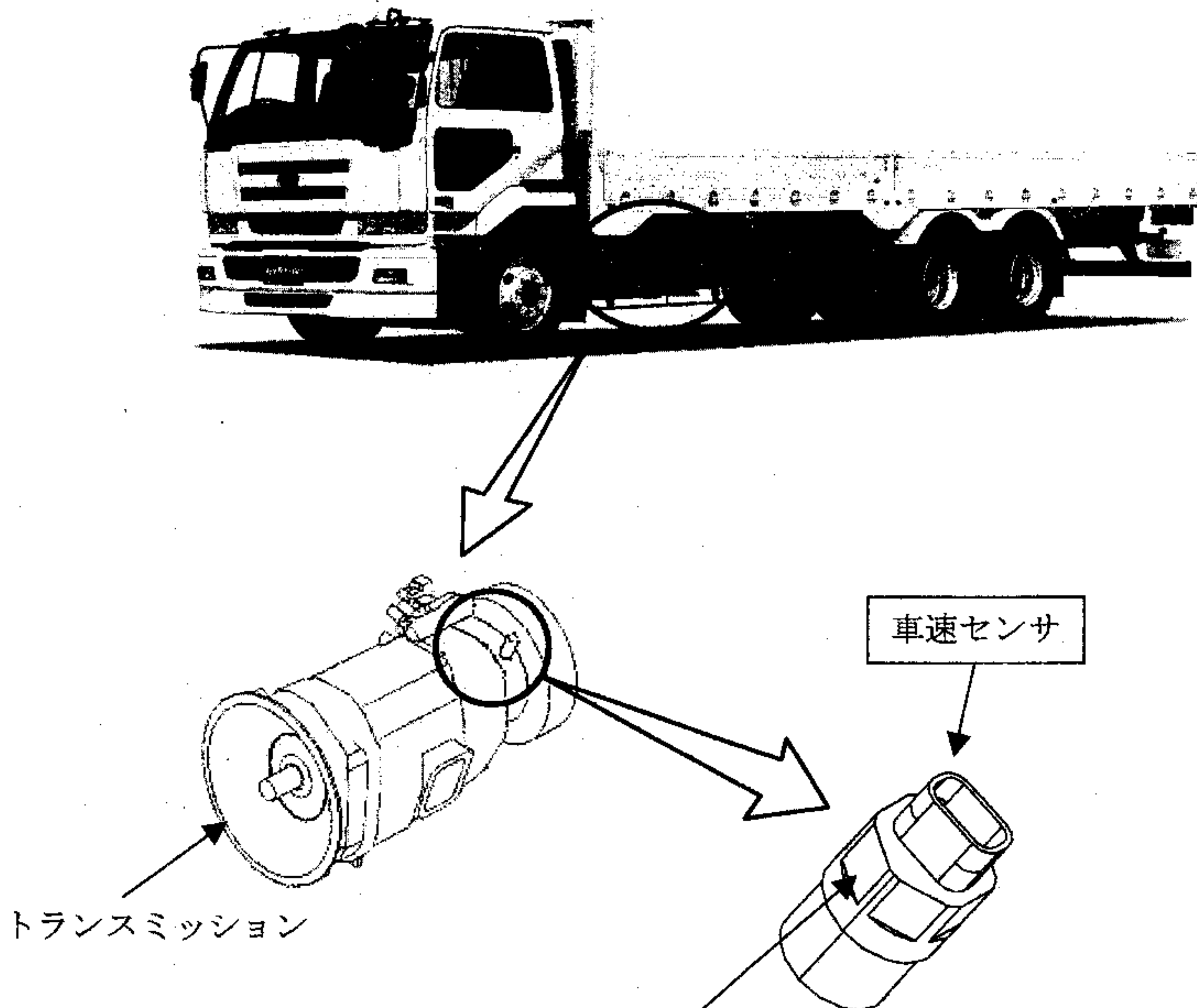


改善箇所説明図



トランスミッションへの車速センサ取り付け方法が不適切なため、走行中の振動等により、当該センサ内部の抵抗器リード線が断線するものがある。そのため、車速センサが車速信号を正常に発信しなくなり、速度計・運行記録計の指示不良、トランスミッション自動変速機構の作動不良等が発生するおそれがある。

改善内容

全車両、当該車速センサを対策品と交換する。

- ・注 : は交換部品を示す。
- ・識別 : 車速センサに白色ペイントを塗布する。